

10月の人権教育への取り組み

【人権教育月別目標】

- ・友和祭に向けて自己表現の場を大切にしよう。

☆合唱コンクールや文化部を中心とした発表に向けて、仲間と協力し助け合いながらひとつのものを作り上げる達成感を味わわせる。
☆友和祭に向けて自分の役割や仕事に責任を持ち、遂行することによって、集団の中での自己実現を図る。

【具体的な場面を通して】

○事前の指導

＜合唱コンクールの練習を通して＞

- ①クラス全員が力を合わせてひとつの合唱を作り上げていく意義や、仲間との協力・団結・思いやりなどについて考えさせる。また、一人一人が全力を尽くすことで、自己実現を図ることができるよう、担任を中心に学年職員で支援していく。
- ②合唱練習の中では、取り組みへの熱心さ・温度差を原因とするトラブル等も予想される。昼休みや放課後の練習には学級担任を中心に学年職員が目配りをし、生徒に助言や励ましの言葉を掛けるようにする。

＜実行委員、生徒会本部役員等の係生徒に対して＞

- ①クラス、学年、学校全体のリーダーとして文化祭における自分の責任を果たし、持てる力を充分発揮するように助言を与え励ます。
- ②係以外の生徒に対しては、フォロワーとしてリーダーに協力していくことを指導する。また、文化祭は一人一人の生徒が力を合わせて作りあげるものであり、人任せにすることのない意識を持たせ行動させる。

○友和祭当日の指導

- ①友和祭準備に関わってきた仲間に対して、感謝や労いの気持ちを持って参加させる。また、一人一人が友和祭をつくっているという意識を持たせ、合唱・展示発表・舞台発表において中学生としての主体的な取り組みができるようにさせる。
- ②クラスで参加する合唱コンクールでは、一人一人が真剣に取り組むことによって全員でひとつのものを作りあげた達成感を味わわせる。
- ③ステージでの合唱・吹奏楽・各発表に対しては静かに聞いたり、声援や拍手を送ったりすることで仲間の頑張りを思いやる気持ちを大切にさせる。また、展示発表などの作品を鑑賞することで、普段気づかない友達の素晴らしい力に気づかせ、努力を認めさせる。